

様式第36号（第5条関係）

令和 4 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所在地	笠岡市高島5039-1
協議会名	高島まちづくり協議会
協議会長名	会長 妹尾 利雄

令和 3 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金B）実績報告書

令和 3 年 4 月 1 日付け笠岡市指令協第 41 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

## 記

1 交付金決算額 240,000 円

## 【添付書類】

- 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金B）活動実績明細書（様式第38号）
- 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金B）収支決算書（様式第39号）
- 領収書の写し（活動ごとに取りまとめたもの）
- 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- その他参考となる書類

様式第38号（第5条関係）

## 令和 3 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金B）活動実績明細書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	定期便減便対策事業

## 1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】昨年10月からの定期便減便で島民の利便性が失われるのを防ぐため、減便対策を行い島民・島外の人たちの生活を確保する。

【効果】島民にとって必要不可欠な公共交通機関である離島航路が減便となりました。そのため減便対策を行うことにより島内外の人たちの安定的な生活が確保されていると思います。

## 2 実施期間

令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日

## 3 実施場所

高島港、外浦港間

## 4 活動に関わった人数・団体

○総人数：451 人（ア＋イ）

（内訳）企画運営に関わった人数：10 人（ア）

その他関係人数（当日参加者等）：441 人（イ）

○団体：（団体名） 高島自治会 ， （団体名）

（団体名） ， （団体名）

## 5 実施内容

地元で渡船業を行っている藪田渡船を利用し、高島、外浦間を（火・水・土・日）1日2便で運航。利用者される方は直接藪田渡船又はまちづくり協議会へ連絡を入れる。委託料とは別に乗船した方が200円支払う。

## 6 決算額

240,000 円（うち交付金分 240,000 円）

## 7 活動実施による成果及び課題

【成果】島民利用はもちろんですが、観光客、民宿関係のかたの利用も多くなっています

【課題】予算の関係上曜日が限定されての運行となります。利用状況を確認しながら検討していきたいと思ひます。

様式第39号（第5条関係）

令和 3 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金B）収支決算書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	定期便減便対策事業

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	240,000	(I) 240,000	0	
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	240,000	240,000	0	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費		0	0	別添「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費		0	0	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
委託料	240,000	240,000	0	〃
	0	0	0	〃
			0	
			0	
計	240,000	240,000	0	決算額のうち市交付金分 (II) <u>240,000</u>

市交付金の返還額 (I) - (II) 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

# 出 納 簿

交付金区分

活動交付金B

活動名

定期便減便対策事業

費目

委託料

No.

1

予 算 額		
年	月	日
3	4	1
流用額		予算現額
		240,000

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計	予算残
1		6	30	藪田渡船	運行費 (4月~6月分)	90,000	90,000	150,000
2		7	30	藪田渡船	運行費 (7月分)	30,000	120,000	120,000
3		8	31	藪田渡船	通帳より振込	30,000	150,000	90,000
4		9	30	藪田渡船	通帳より振込	30,000	180,000	60,000
5		10	29	藪田渡船	通帳より振込	30,000	210,000	30,000
6		11	30	藪田渡船	通帳より振込	30,000	240,000	0
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
No.1 小 計						240,000		

## 事業評価シート

(令和 3 年度)

No. 1

協議会名	高島まちづくり協議会
活動(事業)名	定期便減便対策事業

審査基準	視点	評価点 (数が大きいほど 良い評価)
事業目的は達成できたか	事業の直接的な目的を達成したか	4
事業実績は 事業計画どおりできたか	事業計画は無理がなかったか, 事業規模は適正だったか	3
持続可能な 地域づくりにつながったか	一過性ではなく, 将来の地域運営に資する事業であったか	4
多くの住民, 住民団体と 協力して行ったか	特に若者や女性の参加を積極的に促したか	3
事業成果を地域に 広く共有し, 評価できたか	事業実施や実施後に広報し, 評価をより多くの住民によってなされたか	3

より効果的な事業実施のために,  
次年度以降どのような取組み(改善)を行うか具体的に記入してください。

曜日、時間が限定されているため一年間の運行を把握して、金銭面、時間的な面も含め蕨田渡船と協議をしていきたいと思えます。

運行予定日に電話予約をして運行が決定されるため、利用者が1人で運行される場合があり、「自分のためだけに運行させるのは申し訳ない」といった利用控えが起きる場合がある。運行予定を利用者間で共有できれば、乗合する感覚で利用しやすくなり、結果として稼働率が向上すると考えられる。またリアルタイムで運行情報が提供されることで、乗船忘れの防止ができるものとする。

現在地域内でスマホ講座が開催されており、高齢者のスマホ利用者が増加している状況から、運行予定の共有方法としてはLINE等アプリの活用が望ましい。運行情報の周知徹底を図ることで、稼働率を向上させ、島民事業者双方にとってより有益な事業となると思われる。